

金融市場NOW

日本の国際競争力改善

健康寿命の長さやデジタル技術の普及率が高く評価される

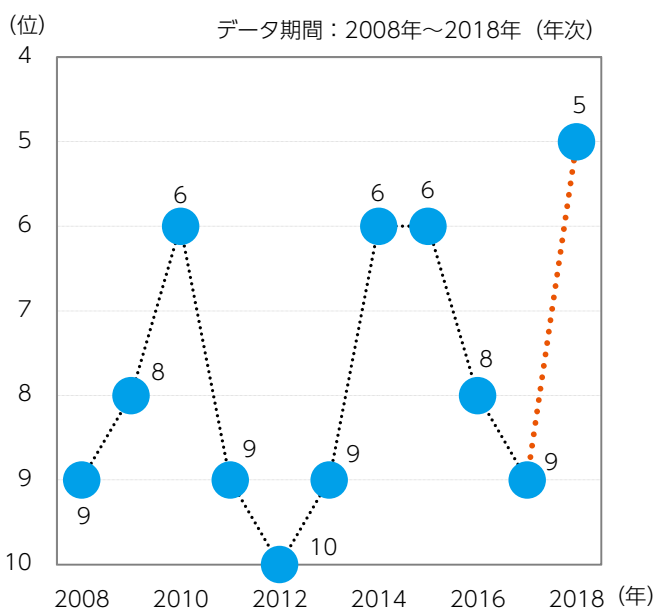
- ▶ 世界経済フォーラムが発表した2018年版『世界競争力報告』で、日本の総合順位は5位となった。
- ▶ 起業を後押しする活発なビジネス環境などが評価され10年ぶりに米国が世界トップへ返り咲く。
- ▶ WEFは、調査対象国の多くにおいて技術革新能力が低く、対策の必要性を指摘している。

ダボス会議で知られる世界経済フォーラム（WEF）は10月17日、世界140カ国・地域の競争力を順位付けした2018年版『世界競争力報告』を発表しました。当報告は、『インフラ』や『マクロ経済環境』、『労働市場の効率性』などの12種類の項目にある複数のサブ項目（今回は98種類の指標）の評価点によってスコアを算出し、140カ国・地域の順位を決定するものであり、2004年から調査・報告されています。世界的な貿易摩擦が懸念される中、今回の調査から市場の開放性をはじめ労働市場の多様性、起業文化等を重視するよう評価方法が大きく変更されました。日本の総合順位は、前年の9位から大きく順位を上げ5位となり（図表1）、トップには、起業を後押しする活発なビジネス環境や、金融システム等が高い評価を得た米国が10年ぶりに返り咲きました（図表2）。

日本の評価を項目別にみると、健康寿命の長さなど健康分野が高く評価されたことから『健康』が世界でトップとなったほか、インターネットや携帯電話などの普及率の高さから『デジタル技術分野』が3位、『市場規模』が4位、道路や鉄道などの『インフラ』が5位となりました。一方、『制度』や労働市場の多様性等を見る『労働市場』は低評価となりました。

WEFは、調査の対象の140カ国・地域の多くの国・地域において技術革新能力が低いと指摘しており、今後は国・地域が対策をとる必要があると警告しています。

図表1：日本は昨年より順位を上げ5位に



※ 日本の世界競争ランキングの推移

図表2：米国が10年ぶりにトップとなる

順位	国・地域	前年順位
1	米国 	2 
2	シンガポール 	3 
3	ドイツ 	5 
4	スイス 	1 
5	日本 	9 
6	オランダ 	4 
7	香港 	6 
8	英国 	8 
9	スウェーデン 	7 
10	デンマーク 	12 

※ 世界競争力ランキング（2018年）

出所）図表1、図表2は世界経済フォーラムのデータを基にニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>